

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

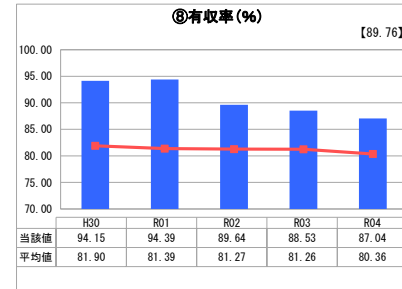
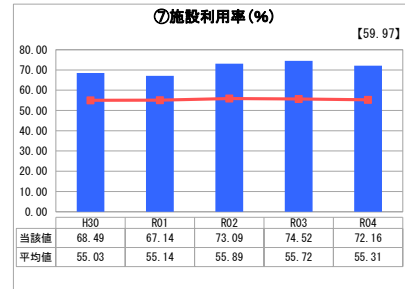
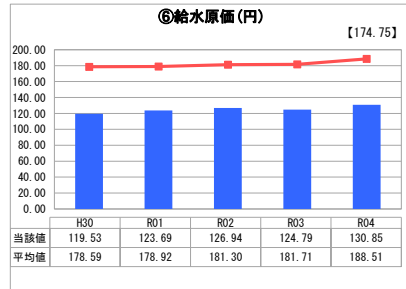
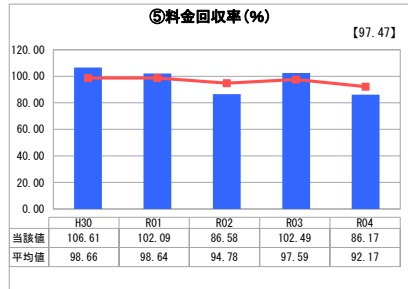
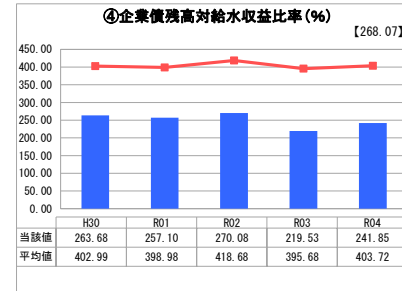
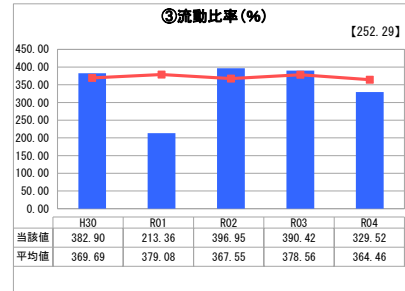
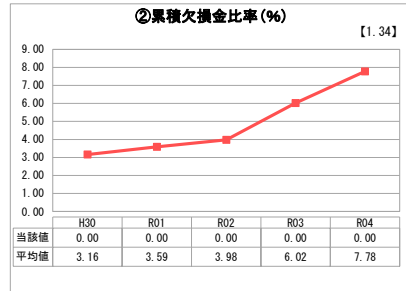
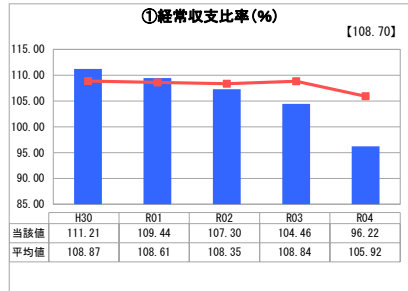
栃木県 野木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	82.48	89.62	2,530	

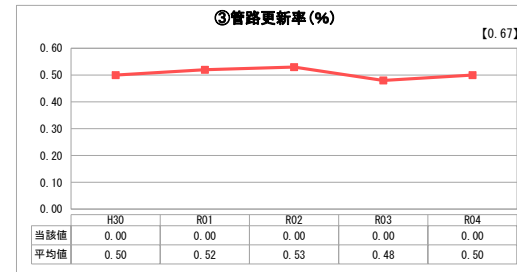
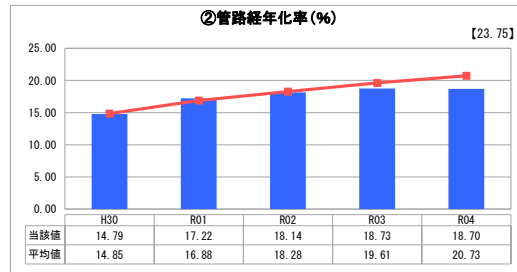
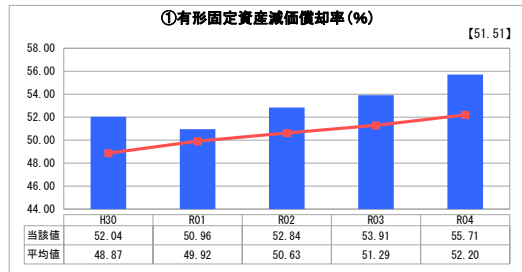
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,164	30.27	831.32
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,493	20.80	1,081.39

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率が100%を下回っており、単年度の収支が赤字であることが示されているが、令和4年度においては、物価高騰対策事業として、水道料金の減免を行ったことが要因である。
- ②累積欠損金比率については、当年度未処理欠損金が生じていないため0%となっている。
- ③流動比率においては類似団体平均値を下回っているが、令和4年度においては、基金への積立を行っているため、流動資産が減少している。目安である100%は十分に上回っているため、支払能力に問題は無い。
- ④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っている。施設の老朽化等に対し、適正な投資規模を見極め、対応していく必要がある。
- ⑤料金回収率は100%を下回っているが、令和4年度は水道料金の減免を行ったことにより、給水収益が減少していることが要因である。
- ⑥給水原価は類似団体平均値を下回っているが、増加傾向にあるため、費用の削減に努めていく。
- ⑦施設利用率は類似団体平均値を上回っており、比較的効率的な施設の利用状況になっている。
- ⑧有収率は類似団体平均値を上回っており、配水に対し、比較的料金収入に結びついている状況ではあるが、年々減少傾向にあり、施設の老朽化も進んでいるため、漏水対策等検討していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は類似団体平均値を上回っており、増加傾向にある。今後、耐用年数を迎える資産の更新に備え、適正な投資規模、財源の確保を検討する必要がある。
- ②管路経年率は類似団体平均値を下回っているが、有形固定資産の償却率を踏まえると、今後増加することが想定されるため、計画的に更新を行う必要がある。
- ③管路更新率は近年更新をしていないため、数値が計上されていない。資産の償却は年々進んでいるため、計画的に更新を行う必要がある。

### 全体総括

令和4年度においては、水道料金の減免を実施したこともあり、経常収支比率、料金回収率が低い水準になっているが、単年度に限る要因によるものである。  
給水原価、施設利用率、有収率等、給水に対する効率は他団体と比較して高水準にあるが、施設の老朽化が進んでいるため、適正な投資規模を見極め、健全な経営状態を維持しつつ、施設の更新を行う必要がある。